

【証明書記載例】

- ・赤字は製造業者の記入箇所
- ・青字は工業会の記入箇所

①にチェックをいれてください。

(一社) 日本木工機械工業会指定用紙	
整理番号	2014-04-15-001
① 下記②③以外の場合	<input checked="" type="checkbox"/>
② 当該設備が一代前モデルのソフトウェア組込型機械装置である場合	<input type="checkbox"/>
③ 当該設備がソフトウェアである場合	<input type="checkbox"/>

産業競争力強化法の生産性向上設備等のうち先端設備に係る仕様等証明書

「機械及び装置」と記入してください。

設備の種類	機械及び装置
設備の用途又は細目	木材又は木製品(家具を除く。)製造業用設備

「木材又は木製品(家具を除く。)製造業用設備」あるいは「家具又は装備品製造業用設備」と記入してください。

当該設備の概要	設備の名称	複合加工機
	設備型式	2008年式 ABC-01
	納入数量	3台
	納入年月	平成 26年 4月 (予定を記入すること)
	設置場所	(事業所名) 野田工業 (所在地) 神奈川県横浜市南区〇-〇-〇

同時期に同じ設備を複数台導入する場合は、「納入数量」を記入することで、必要な証明書は1枚となります。

チェックシート(様式2)にて、下欄の該当要件①及び②が要件を満たしているか確認してください。満たしている場合は、該当要件①及び②の「1. 該当」に丸をつけてください。また、先端設備の当否について「1. 該当」に丸をつけてください。

該当要件	① 「最新モデル」に該当するか (※) 当該設備がソフトウェア組込型機械装置(中小企業者等が取得又は製作をするものに限る。)である場合は、「一代前モデル」でも可。	1 該当	2. 非該当
	② 「生産性向上」に該当するか (※) 当該設備がソフトウェア(中小企業者等が取得又は製作をするものに限る。)である場合、または比較すべき旧モデルが全く無い新製品の場合には、記載不要。	1 該当	2. 非該当
	先端設備の当否	1 該当	2. 非該当

当該設備は、上記のとおりであることを証明します。

該当要件欄に記載してある事項について確認し、該当要件を満たしていることを証明します。

平成 26年 5月 26日

〒460-0011  
名古屋市中区大須4-11-39

電話：052-261-7511  
一般社団法人 日本木工機械工業会

理事長 井本 希孝

印

輸入品を申請の場合、製造業者欄には海外メーカーの名称、所在地、代表者氏名(代表取締役のこと。ただし状況に応じ別途判断)を、担当者欄には輸入業者の名称と担当者氏名、連絡先を記入してください。印鑑は会社の実印を使用してください。海外メーカーの場合は、代表者サインでも可とします。

平成 26年 5月 23日

製造業者等の名称 株式会社 田中製作所

製造業者等の所在地 東京都世田谷区用賀〇-〇-〇

代表者氏名 田中 一郎

印

担当者氏名 田中 二郎

担当者連絡先(電話番号) 03-0000-0000